

(学校運営協議会・報告様式)

令和7年度 第6回白子中学校学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和8年2月27日(金) 16:00~17:00

2 場 所 白子中学校 図書館

3 報告事項

(1) 教育指導課より

鈴鹿市教育委員会事務局教育指導課部活動地域移行準備室より、部活動地域移行についての説明が行われた。

(2) 東館・南館校舎・体育館トイレの改修工事について

東館・南館校舎・体育館トイレの改修工事について、鈴鹿市公共施設政策課と鈴鹿市教育委員会教育政策課により工事の概要の説明が行われた。

4 協議事項

(1) 学校関係者評価書について

- ・全国学力・学習状況調査等の分析をもとに、弱みを克服する課題を継続的に取り組む。
- ・長期欠席対策については今後も継続的に専門家との連携を密にしつつ、生徒理解を深めるための研修、すずっこファイルを活用し、支援の充実を図る。
- ・非認知能力育成については生徒にもわかりやすく示す場を設け周知するとともに生徒同士が互いの良さを認め合える取組やレジリエンス教育の充実を図る。
- ・地域連携についてはボランティア活動への積極的な参加を施していく。
- ・働き方改革については教員の意識の醸成に続けて努め、また、配付物については今後も「tetoru」の活用を進めていく。

(委員より)

- ・働き方改革の中で教員同士の連携はとれているのか。
→分担できるものは分担し、共有できるものは共有しながら工夫して取り組んでおり、大規模校の特性もあり、情報共有に時間がかかってしまう。
- ・週末の部活動がなくなると教員の負担量は減るのか。
→現状を鑑みるとだいぶ減ると考えられる。
- ・部活動地域移行の構成員に教員もいるのか。子どもたちは馴染みの先生がいるほうが安心すると思う。

→いると聞いているがどの程度かはわからない。

5 教育支援課より

- ・一年間を通して一つのテーマについて協議できたことは良かった。また、委員の忌憚ない意見で協議も盛んになりよかった。
- ・学力向上の課題については小学校とも連携しても考えていく必要がある。